

グループホームかっこの森ぬまで A棟

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	基本理念は、事務所や共有スペースに掲示し、職員の周知と共有を図っている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍において地域と積極的な交流が図れていなかったが、近所へ散歩した際は挨拶を交わすなど交流に努めている。	周囲で気になる症状があり対応に困っている時など寺子屋のように気軽に施設に足を運んでもらう。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今年度は書面で会議を行ったが、運営推進会議では利用状況や活動状況等について報告し、それらに対する意見や助言をいただき、より良いサービスにつなげている。	推進会議を通じて事業所の活動内容を知ることが出来ている。		

4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営上の留意点やサービス提供などについて疑問があった場合は、メールやFAXで情報交換し、協力いただいている。	サービス提供などで疑問があった時などは推進会議で行政の担当者に質問をしたり介護保険課の方に相談していたりしている。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束に関する研修を定期的に行っており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。また、玄関の施錠も7時から20時までは施錠しないようにしている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年2回身体拘束についての研修会を行っている。不適切なケアに繋がりにくいケアの事例検討も年数回行い、全職員参加している。会社全体で身体拘束をしないケアに取り組んでいる。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設や社内で勉強会を開催し不適切なケアをしていないか振り返りを行い、質の向上に努めている。		A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束同様に定期的に研修を行っている。また、不適切なケアが虐待にもつながると考え、不適切なケアを学ぶ機会を設けている。

7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	成年後見制度の研修があった際は参加し、制度の理解を深め、活用できるように職員に周知を図っている。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時は書類を用いて説明し、疑問や質問があればその都度丁寧に説明し理解を得るよう努めている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族アンケートを実施して結果を職員会議や運営推進会議で報告し話し合いを行うことで運営に反映できるように努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族から出た意見は会議の場などで話し合っている。玄関に意見箱を設置することにする。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員会議を毎月開催し、管理者は職員から意見や提案があった際、可能な限り反映できるように努めている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個人面談を通じ個々の希望、要望を把握している。年1回個々の実績に応じて定時昇		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない	年2回のキャリアチョイス・キャリアチャレンジ制度を導入しており、個人の希望や要

		って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている		給があり、職員のやりがいにもつながっている。		D. ほとんどできていない	望を把握し、できる限りその要望にそって仕事ができるように配慮している。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	内外問わず研修案内を頻回に提示している。SDS、OJTやOFF-JTの研修制度を活用できる環境が整えられている。		<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	新型コロナウイルスの影響によりオンライン研修への参加が増えた。研修費や交通費などの支給などの研修応援支援制度もあり、研修を受けやすい体制が整っている。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	外部の研修会に参加することで、同業者と交流する機会にもつながっている。集団指導の好事例を参考にしサービスの質の向上を図っている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	本人の出来る能力を大切に、茶碗拭きや洗濯干し、洗濯たたみなど職員と一緒にやっている。感謝の言葉を伝える事で張りのある生活を送れるように支援している。			

15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルスによる一部制限はあるものの、馴染みの方がいつでも気軽に訪問できるよう環境を整えている。	家族の力を借りて今まで大事にしてきた馴染みの場所や馴染みの方とこれからも繋がるように支援していく。場合により必要があれば運営推進会議の役員の方も協力して支援する。		
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所の段階で生活歴などの情報収集を行い、必要に応じてセンター方式を活用し、思いや意向を実現できるように努めている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常のケアの中で本人の意向などを汲み取り、ご家族様の面会時、状況報告し要望や意向、要望等の確認を行っている。また、各職種の見解などもケース会議で話し合っている。	毎日接して介護している職員がそれぞれの意見やアイデアを出し合い計画書を作成しており、現状に即した介護計画を作成できている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その人らしく生活できるように、家族や本人からも要望など聞き取りを行い、計画書に反映している。

18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活記録に普段と違う様子があった時や喜怒哀楽時の利用者様の言動や職員の対応など細かく記録するようにしている。申し送りや職員会議等で情報を共有し必要に応じて計画書の見直しをしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ケア上での些細な気付きなども社内 SNS にて投稿し職員間で情報共有している。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外出などの希望等があった場合は可能な限り取り組み、場合によっては家族にも協力してもらい、希望を叶えられるようにしている。	今後は外出の機会も増え、一人ひとりのサービスが増えなくても地域のみみなで見守りし支えていく力がつくように支援していく。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルスの制限のため、地域との交流は控えていたが、今後は、町内会と連携・協力体制を密にし、地域行事へ参加を増やし、有事の際互いに助け合えるようにしていきたい。	今後は町内会と連携・協力体制を密にして、地域行事への参加を増やしていく。有事の際、互いに助け合えるように日頃から協力体制を築く。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所のかかりつけ医を説明した上で、本人及び家族が希望する病院を受診できるようにしている。また、必要に			

		きながら、適切な医療を受けられるように支援している		じて専門医へ繋げられるよう支援している。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院した際は医療機関へ情報提供を行い、家族や医療機関と情報交換することで安心して治療できるように支援している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時は家族や医療機関と情報交換することが出来ている。入院前と退院後の利用者の状況が異なる場合は支援の方法、アドバイスなど医療機関に相談している。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所の段階で重度化した場合や終末期のあり方について聞き取りを行っている。また、段階ごとにご家族の意向を確認し、医療機関と連携を図り支援している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	段階ごとに終末期のあり方について家族の意向を確認している。必要に応じて主治医を交えて今後の方針を相談している。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事故防止の研修には参加しているが、応急手当や初期対応に関して職員により実践力にばらつきがあるため定期的			

				に訓練を行い迅速に対応できるようにしていきたい。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	有事の際の地域との協力体制がまだ構築出来ていない。様々な災害時に全職員が迅速に対応できるように避難訓練を通して身につける必要がある。	災害時の家族への連絡の方法、地域の方の協力体制についても煮詰めていく必要がある。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	有事の際、特に水害時職員だけの避難は難しいと捉えている。そのため地域の力を借りながら避難できるように避難訓練でも地域の方に協力を仰ぎながら行う。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	社内研修で職員全員が、介護とは接客業であり、人生の先輩であることを理解した上で家族や利用者の立場に立った声掛け支援ができるように日ごろから意識して行っている。		A. 充分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	接遇に関しては特に厳しく新人研修の時から研修を行っている。ご家族様からもお褒めの言葉をいただいている。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に	A. 充分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その日の体調や気持ちに合わせ、無理強いせず本人のペースに合わせて過ごせるように支援している。			

		し、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している					
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	献立では利用者が好むもの食べたいもの、旬のものを取り入れ、食での楽しみを持ってもらえるように支援している。また、調理や食事の盛り付け、茶碗拭きなどそれぞれが出来ることを職員と一緒にやっている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	食に対して特にこだわりをもって支援している。温かいものを温かく冷たいものは冷たく、彩も考えメニュー作りから盛り付けまでしている。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	摂取量を把握し、必要に応じて補食を行っている。また、歯の欠損や嚥下困難な方には食事形態を工夫し食べやすいようにしている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎食後口腔ケアを実施している。本人の力に応じて支援している。必要に応じて口腔スポンジや口腔ウエッティーを使用している。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	本人の力に応じて口腔ケアを行っており、口腔内のトラブルも見られていない。

31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄チェック表を活用し、排泄パターンを把握することで、失禁が減少している。立位困難な方でも二人介助でトイレ誘導する等して、できる限りトイレで排泄してもらえるようにしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	綿パンツ着用の利用者様が2名おり、できる限りテープオムツを使用しない支援を実施している。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入浴の時間帯は午前中が多いが、その日の利用者の気分や体調により入浴日をずらすなどして対応している。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人一人の生活習慣や希望などを聞き、昼寝の習慣がある方には午睡を勧めている。日中体操等で身体を動かしてもらうことで夜安眠してもらえるようにしている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりのお薬情報を管理し、職員で共有している。内服時は飲み込みの確認まで行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員がお薬情報で内服薬や外用薬の目的や副作用を確認している。症状に変化がある時は主治医に確認している。

35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活歴を把握し得意な家事などに参加してもらうことで役割意識を持ちやりがいにつながっていけるようにしている。	生活歴を踏まえて支援しており、今の利用者様のことを一番理解しているのは職員だと思っている。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍のため、その日の希望にそっての外出がなかなかできなかったが、ご家族の協力の元、お正月に外出することが出来た方もいた。	地域の方の中でも時間さえあればボランティアに行きたい。学生でも役立ちたいと思っている方は多いかもしれないため、本人の希望を把握し職員だけでは難しい場合など家族や町内の方に協力してもらい、外出支援をしていく。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外出時等、可能であれば自分で支払いを行ってもらっている。			

38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	希望時には電話を掛けられるようにしている。携帯電話を持っている方もおり、いつでも使用してもらっている。手紙が届いた時は、代読を行っている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家で使用されていた家具や持ち物を持参していただいている。また、利用者様が普段過ごされるホールからは季節の風景を感じることができ、一人ひとりが心地よく過ごせるよう配慮している。		A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホールから咲いている植木を見ては季節感を感じてもらっている。テレビを数カ所設置し、食事の席以外にソファもあり、利用者様が好きな時に好きな場所で過ごしてもらえるように環境を整えている。
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	プランの見直しの都度意向の確認を行っている。また、日々の暮らしの中で、思いや願いを把握し、本人様が思い描く暮らしが可能な限りできるようにしている。			

41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活歴や暮らしの習慣など入所時に家族から聞き取りを行っている。それを基に本人の意思を確認しながら支援している。		
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日バイタル測定を行い、健康チェックをしている。普段と様子が違う時は、職員間で申し送りし必要により家族や主治医に報告し、ケアを変更している。		A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	それぞれの利用者の生活歴や暮らしの習慣を把握することで本人のペースで生活できるように支援している。		
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所時に馴染みの物を持参してもらっている。ダンスや化粧台、写真など大切にしているものを持参してもらい、居室に置いている。		A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができています	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外出希望があった時は、ご家族の協力のもと行っている。	家族の協力のもと、外出支援を行っており、今後も継続していく。	
						看護師資格を持っている職員がおり、細やかな健康チェックが出来る。

46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	プラン作成時に本人のできること、できないこと、わからないことなどをセンター方式を活用しながら把握し、できる役割や好む活動に参加してもらっている。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ゆっくりと関わることで、利用者からの笑顔を引き出せるよう会話など工夫をしている。できる活動の中で活躍できる場を出来る限り毎日提供している。		A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	活動できる場面を出る限り毎日提供することでいきいきと過ごせるように支援している。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている ③ あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍ということもあり、近隣や地域の方々と関わったり、交流する機会が少なくほとんどできていない。	少しずつイベント等に関わることで刺激が増える機会を提供できるように町内の方や家族と協力してイベントなどを立案していく。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の人々との親しみがほとんどできていないが、職員やご家族の面会などにより、安心して生活することができている。	グループホームは自宅のような温かさが体现されていると思う。利用者様が安心して生活できるようにこれからも取り組む。	A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所後も自宅での生活とあまり変わらないような環境で生活できるように支援している。

グループホームかっこの森ぬまでて B棟

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	基本理念は、事務所や共有スペースに掲示し、職員の周知と共有を図っている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍において地域と積極的な交流が図れていなかったが、近所へ散歩した際は挨拶を交わすなど交流に努めている。			
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今年度は書面で会議を行ったが、運営推進会議では利用状況や活動状況等について報告し、それらに対する意見や助言をいただき、より良いサービスにつなげている。			

4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営上の留意点やサービス提供などについて疑問があった場合は、メールやFAXで情報交換し、協力いただいている。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束に関する研修を定期的に行っており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。また、玄関の施錠も7時から20時までは施錠しないようにしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設や社内で勉強会を開催し不適切なケアをしていないか振り返りを行い、質の向上に努めている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	成年後見制度の研修があった際は参加し、制度の理解を深め、活用できるように職員に周知を図っている。		

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時は書類を用いて説明し、疑問や質問があればその都度丁寧に説明し理解を得るよう努めている。		
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族アンケートを実施して結果を全体会議で報告し話し合いを行うことで運営に反映できるように努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員会議を毎月開催し、管理者は職員から意見や提案があった際、可能な限り反映できるように努めている。		
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個人面談を通じ個々の希望、要望を把握している。年1回個々の実績に応じて定時昇給があり、職員のやりがいにもつながっている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受けられる機会の確保や、働きながら	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	内外問わず研修案内を頻回に提示している。SDS、OJTやOFF-JTの研修制度を活用できる環境が整えられている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない

		レーニングしていくことを進めている					
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外部の研修会に参加することで、同業者と交流する機会にもつながっている。集団指導の好事例を参考にしサービスの質の向上を図っている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の出来る能力を大切に、茶碗拭きや洗濯干し、洗濯たみなど職員と一緒にやっている。感謝の言葉を伝える事で張りのある生活を送れるように支援している。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルスによる一部制限はあるものの、馴染みの方がいつでも気軽に訪問できるよう環境を整えている。			

Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所の段階で生活歴などの情報収集を行い、必要に応じてセンター方式を活用し、思いや意向を実現できるように努めている。		
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常のケアの中で本人の意向などを汲み取り、ご家族様の面会時、状況報告し要望や意向、要望等の確認を行っている。また、各職種の意見などもケース会議で話し合っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活記録に普段と違う様子があった時や喜怒哀楽時の利用者様の言動や職員の対応など細かく記録するようにしている。申し送りや全体会議等で情報を共有し必要に応じて計画書の見直しをしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々に見えるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外出などの希望等があった場合は可能な限り取り組み、場合によっては家族にも協力してもらい、希望を叶えられるようにしている。		

20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルスの制限のため、地域との交流は控えていたが、今後は、町内会と連携・協力体制を密にし、地域行事へ参加を増やし、有事の際互いに助け合えるようにしていきたい。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所のかかりつけ医を説明した上で、本人及び家族が希望する病院を受診できるようにしている。また、必要に応じて専門医へ繋げられるよう支援している。		
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院した際は医療機関へ情報提供を行い、家族や医療機関と情報交換することで安心して治療できるように支援している。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業	A. 充分にできている B. ほぼできている	入所の段階で重度化した場合や終末期のあり方について聞き取りを行っている。ま	A. 充分にできている B. ほぼできている	

		所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	C. あまりできていない D. ほとんどできていない	た、段階ごとにご家族の意向を確認し、医療機関と連携を図り支援している。		C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事故防止の研修には参加しているが、応急手当や初期対応に関して職員により実践力にばらつきがあるため定期的に訓練を行い迅速に対応できるようにしていきたい。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	有事の際の地域との協力体制がまだ構築出来ていない。様々な災害時に全職員が迅速に対応できるように避難訓練を通して身につける必要がある。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	社内研修で職員全員が、介護とは接客業であり、人生の先輩であることを理解した上で家族や利用者の立場に立った声掛け支援ができるように日ごろから意識して行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その日の体調や気持ちに合わせ、無理強いせずに本人のペースに合わせて過ごせるように支援している。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	献立では利用者が好むもの食べたいもの、旬のものを取り入れ、食での楽しみを持ってもらえるように支援している。また、調理や食事の盛り付け、茶碗拭きなどそれぞれができることを職員と一緒にやっている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	摂取量を把握し、必要に応じて補食を行っている。また、歯の欠損や嚥下困難な方には食事形態を工夫し食べやすいようにしている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後口腔ケアを実施している。本人の力に応じて支援している。必要に応じて口腔ス		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

				ポンジや口腔ウエットーを使用している。			
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄チェック表を活用し、排泄パターンを把握することで、失禁が減少している。立位困難な方でも二人介助でトイレ誘導する等して、できる限りトイレで排泄してもらえるようにしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入浴の時間帯は午前中が多いが、その日の利用者の気分や体調により入浴日をずらすなどして対応している。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人一人の生活習慣や希望などを聞き、昼寝の習慣がある方には午睡を勧めている。日中体操等で身体を動かしてもらうことで夜安眠してもらえるようにしている。			

34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりのお薬情報を管理し、職員で共有している。内服時は飲み込みの確認まで行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活歴を把握し得意な家事などに参加してもらうことで役割意識を持ちやりがいにつなげていけるようにしている。			
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍のため、その日の希望にそっての外出がなかなかできなかったが、ご家族の協力の元、お正月に外出することが出来た方もいた。			
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外出時等、可能であれば自分で支払いを行ってもらっている。			

38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	希望時には電話を掛けられるようにしている。携帯電話を持っている方もおり、いつでも使用してもらっている。手紙が届いた時は、代読を行っている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家で使用されていた家具や持ち物を持参していただいている。また、利用者様が普段過ごされるホールからは季節の風景を感じることができ、一人ひとりが心地よく過ごせるよう配慮している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	プランの見直しの都度意向の確認を行っている。また、日々の暮らしの中で、思いや願いを把握し、本人様が思い描く暮らしが可能な限りできるようにしている。			

41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活歴や暮らしの習慣など入所時に家族から聞き取りを行っている。それを基に本人の意思を確認しながら支援している。		
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日バイタル測定を行い、健康チェックをしている。普段と様子が違う時は、職員間で申し送りし必要により家族や主治医に報告し、ケアを変更している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	それぞれの利用者の生活歴や暮らしの習慣を把握することで本人のペースで生活できるように支援している。		
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所時に馴染みの物を持参してもらっている。タンスや化粧台、写真など大切にしているものを持参してもらい、居室に置いている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外出希望があった時は、ご家族の協力のもと行っている。		

46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	プラン作成時に本人のできること、できないこと、わからないことなどをセンター方式を活用しながら把握し、できる役割や好む活動に参加してもらっている。		
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ゆっくりと関わることで、利用者からの笑顔を引き出せるよう会話など工夫をしている。できる活動の中で活躍できる場を出来る限り毎日提供している。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍ということもあり、近隣や地域の方々と関わったり、交流する機会が少なくほとんどできていない。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の人々との親しみがほとんどできていないが、職員やご家族の面会などにより、安心して生活することができている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

2 目標達成計画

作成日: 令和 5年 3月 27日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	25	有事の際の地域との協力体制がまだ構築出来ていない。様々な災害時に全職員が迅速に対応できるように避難訓練を通じて身に付ける必要がある。	有事の際、地域との協力体制を構築する。	①運営推進会議の場で協力体制について具体的に話し合い明確にする。 ②地域の方を交えての避難訓練を実施する。	12か月
2	24	急変時や事故発生時、応急手当や初期対応に関して職員により実践力にばらつきがある。	全職員がある程度の応急手当や初期対応ができるようになる。	①心肺蘇生を含めた研修に参加する。(伝達研修も含む) ②看護師指導のもと、初期対応などの事業所内での研修を行う。	12か月
3					か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。